

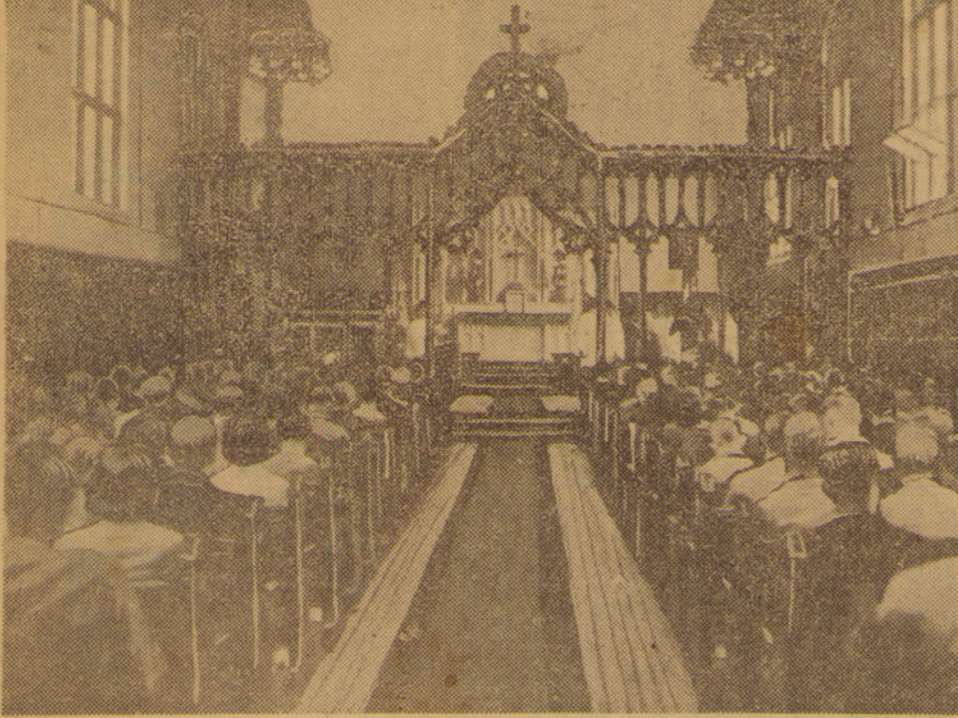


刊日十日... 立教大學新聞

慰霊祭を 迎へて... 大東亞戦初の日

大東亞戦初の日 本學禮拜堂にて舉行

大東亞戦初の日... 本學禮拜堂にて舉行



慰霊の祈り... 大東亞戦初の日

報國團組織の改組 銃剣道部新設

報國團組織の改組... 銃剣道部新設

時事展望... 戦時アメリカ経済の脆弱性

本年度教員査閲 六月二十九日施行

グライダール寄贈 本學先輩 石川源一郎氏

人事異動... 中西教授解任 高宮氏赴任

倫理學 中巻... 支那最近大事年表

日本労働立法の發展... 支那問題綜合大事年表

吾が闘争... 憲法行政法演習 日本統制経済法

説花

ユダヤ教の普遍性

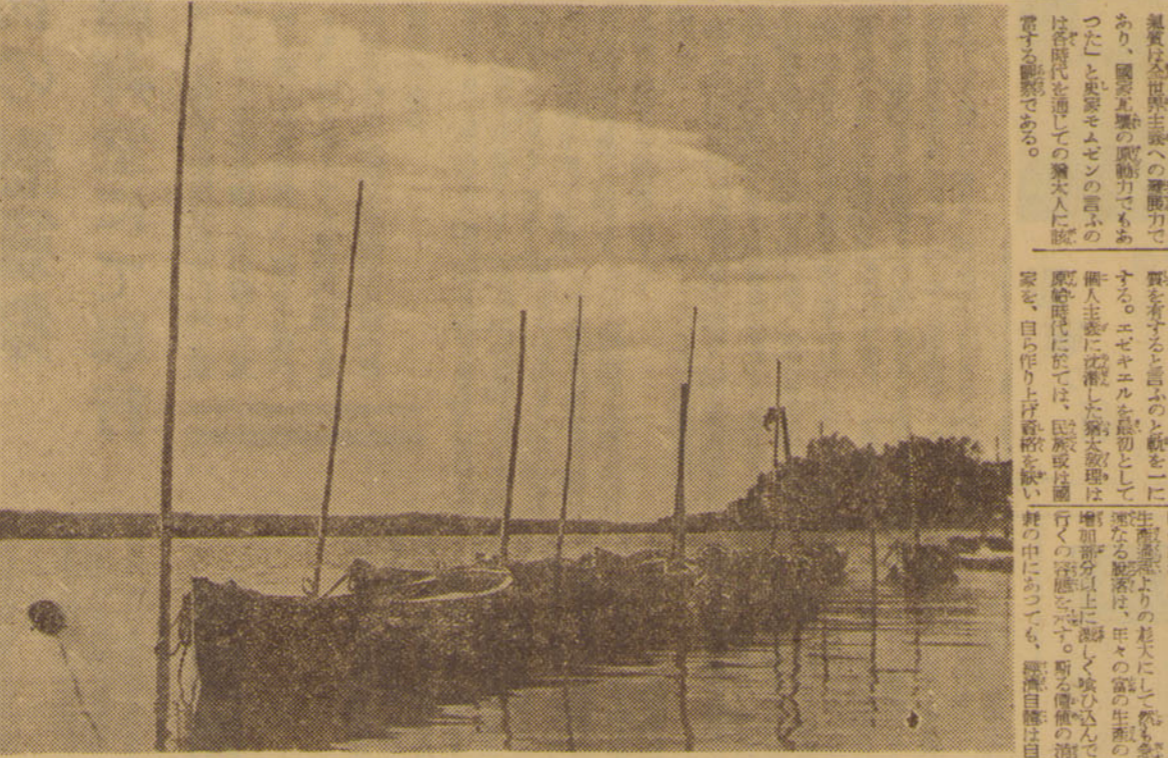
選民思想への一投石

ユダヤ教の普遍性とは、その選民思想の普遍性である。ユダヤ教は、神の選民としてイスラエル民族を定め、その使命を負わせた。しかし、その選民思想は、決して排他的なものではなく、むしろ、人類全体の救済を目的として展開された。この普遍性を理解することは、現代社会における宗教の役割を考察する上で不可欠である。

日本農業再編成の方向

二律背反的課題の解決

荏崎 良雄



日本農業の再編成は、二律背反的課題の解決を必要とする。一方は生産性の向上と効率化、他方は地域社会の維持と雇用の確保である。この両者を同時に達成するためには、技術革新と制度変革の両輪が必要である。特に、小規模農家の抱える課題を解決するための政策が重要である。

品名	単位	数量
大豆	石	0.27
小麦	石	0.047
雑穀	石	0.057
合計	石	0.374

民族思想の基底は 宗教的感情である

福田 光愛

民族思想の基底は宗教的感情である。宗教は、民族のアイデンティティを形成し、その結束を強める重要な役割を果たしている。特に、神聖な土地や歴史を共有する宗教は、民族意識を醸成する上で極めて重要な要素である。現代社会においても、宗教的感情は民族の存続と発展を支える力となっている。

著者 鈴木武雄 高承の鮮経 高承の鮮経は、戦時体制下の日本社会を背景とした小説である。主人公の成長と苦闘を通じて、国家と個人の関係、理想と現実の衝突を鋭く描き出している。この作品は、戦後日本の文学史において重要な位置を占めている。

自由主義の盲信 自由主義は、個人の権利と自由を重視する思想である。しかし、過度の自由主義は社会の秩序と協調性を損なう可能性がある。現代社会では、自由と責任のバランスをどう取るかが重要な課題となっている。この文章は、自由主義の盲信を批判的に考察している。

帝國學士編纂 帝室制度史 第五卷 神器 六六〇頁 大五五〇頁 附圖三幅

推薦省部文 第一卷 國體 第二卷 皇位 第三卷 皇位 第四卷 皇位 第五卷 皇位

社 下ルラヘ

兵隊の地圖 火野葦平 著

★新日本政治の發足 渡村謙著

時局雜誌 六月 佛印・憂鬱 山本實彦 編

源九郎義経 源九郎義経 著

生活と社會 生活と社會 著

英語研究 英語研究 著

民族と人口の理論 民族と人口の理論 著

民族と文化の諸問題 民族と文化の諸問題 著

里見弴集 里見弴集 著

大東亞戰爭私感 大東亞戰爭私感 著

思想の展開 思想の展開 著



陸軍作戦

戦勝の口火を切る
荒鷲の攻撃精神

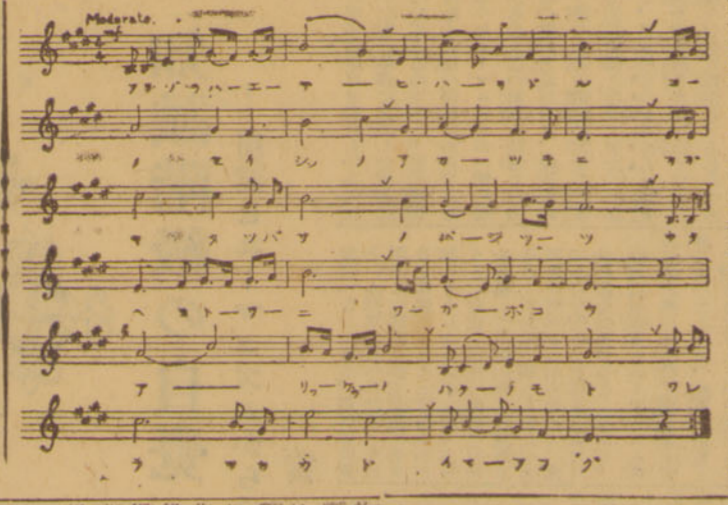
陸軍部長 長谷川直美氏講演



大戦果を齎らすは旺盛な攻撃精神
陸軍部長長谷川直美氏講演の要旨を記す。長谷川氏は、陸軍の攻撃精神を述べ、戦勝の口火を切る荒鷲の攻撃精神を強調した。...

いざ、唱はん！
待望の準校歌成る

武清 藤瀨 重保 詩作
若き詩と力強き曲



中山伊知郎氏に
戦争と経済
を聴く

中山伊知郎氏に戦争と経済を聴く。中山氏は、戦争と経済の関係を論じ、戦時下の経済政策について意見を述べた。...

敵陣へ火の體當り

空の神兵につこりと自爆
南太平洋の華 朝廣中尉



敵陣へ火の體當り。南太平洋の戦場で、朝廣中尉は自爆攻撃を行い、敵陣に火の體當りを与えた。...

一祖國は常に我が胸に

海軍報道班員談
朝廣君よくやつた

朝廣君よくやつた

教へ子を語る高松教授

朝廣君よくやつた。海軍報道班員は、朝廣君の勇敢な行動を高く評価し、祖國を常に胸に抱いて奮闘することを賞賛した。...

乙旗を語る後藤中將
第三十七回海軍記念日に

乙旗を語る後藤中將。後藤中將は、乙旗の歴史と意義を語り、海軍の発展と進歩を期すことを述べた。...

夏山
磯野新一郎

真善美の境を知る
行としての登山
横河正年

赤外線
集會室設置を望む

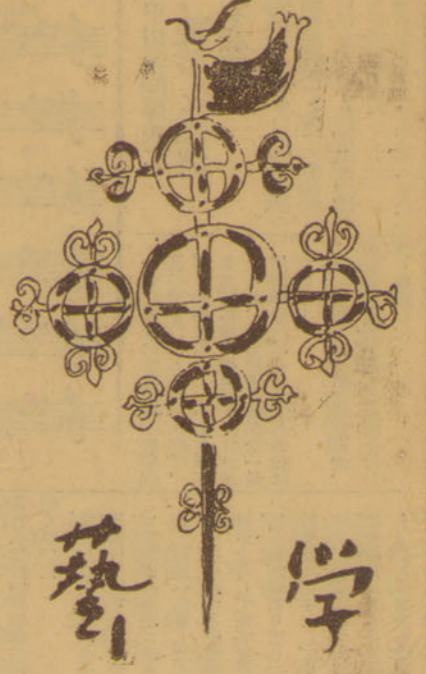
歌援應新 教立光榮
立教大學新報の歌を支援する。光榮の歌を歌う。...

立教學院校友會
第六年度總會御案内
校友會の活動と總會の開催について案内する。...

南方研究
況をみる

とせがわ
梅雨の季節に
胃腸を健康にする。...

左義長まつり
瑞穂
明治二十年、吳軍港建設の大事業
をめぐっての足跡をたどる。...



知識階級の自覚

富田 彬

日本知識階級の自覚は、自由主義の精神から生じたものである。...

自由主義の精神は、知識階級の自覚を促した。...

最近読んだものの中から 辻 庄一

良書推薦 最近読んだものの中から

地蔵峠 今泉 忠義

高村光太郎氏について 造型美論 林 秀雄

ひとときのためらひ 仰木 康介

東の史観と西の史観 富田 英彦

東の史観と西の史観 (continued) 富田 英彦

第5回 日響日曜演奏會 6月21日 午後1時 於日比谷公會堂

作品の無統制 刈谷重男

睡眠克服 能率増進 サンドルマン錠

哲学科年報第四輯発行

立大給書校内展を見る 刈谷重男